

# World's Window

さあ、窓を開けて世界をのぞいてみようよ



Vol.57

ニュージーランド



世界の国々や地域を紹介するコーナー「ワールズ・ウィンドウ」！  
案内役は、国際交流員のローラ・スタンリーさんとカレン・イートンさんです。

Hello! カレンです。今回は、わたしの国について紹介します。ニュージーランドは南半球にある日本によく似た島国です。気候は日本と逆で、北の方が温かくて南の方が寒いんです。季節も逆で、クリスマスのころは夏で、ねぶた祭のころは真冬なんですよ。とってもスローライフが似合う国です。

ニュージーランドでは、新鮮な食べ物、海辺の散歩、家族や友人とゆったり過ごす時間などのシンプルな生活ができるのは、先住民のマオリ族の影響を受けていると考えられています。

マオリ族はニュージーランドの先住民です。彼らの考え方や文化、ファナウ(拡大家族)やマナ(尊敬)などの価値観、土地と海への深い関わりなどがニュージーランド人の性格や考え方や印象や個性にも影響を与えています。

およそ800年前にマオリ族は南太平洋のポリネシアからカヌーで海を渡り、『アオテアロア (白く長い雲のたなびく国)』と名づけて住み着きました。

300年後、オランダ人が渡来し『ニュージーランド』と名づけ、短い滞在の後帰国しました。その直後にはまたイギリス人が渡来し、イギリスの植民地にしようと思いはじめました。

1840年2月6日には、イギリス人がニュージーランドを統治することが許されました。マオリ族は自分たちの土地や資源の所有・利用権を保障するためにマオリ族の首長たちがイギリスの君主と**ワイタンギ条約**を結びました。

しかし、マオリ族の土地と資源を保護する約束は破られたため、1860年代から70年代にマオリ族はヨーロッパ入植者に繰り返し激しい戦いを挑みました。その結果、多くの土地がマオリ族から奪われました。現在、ニュージーランド政府は、土地の没収および過去の不正行為を保障することで、マオリ族と公正で永続的な和解を達成しようとしています。マオリ族の言語と文化の保護に力を注いできた結果、近年マオリ族の伝統に対する意識と誇りが復活してきました。

今では、大半のマオリ族は都市や町に住んでいますが、多くは自分たちのイウイ(部族)と強い一体感をもって、土地と習慣に深い精神的なつながりを持ち続けています。



ラグビーのニュージーランドナショナルチーム「**オールブラックス**」の試合前には、ハカと呼ばれるマオリ族のさまざまなアクシヨ



民族衣装とマオリ族独特の化粧

ン付きの歌が演じられることが世界的に知られています。マオリ族は生き生きとした歌や踊り、木や垂麻や翡翠などで作られた伝統的な芸術、神話や伝説の豊かな文化を持っています。ある神話の中では、マウイ神がカヌー(南島)に乗って、釣りをしに行き、その時釣り上げた「テ・イ・カ・オ・マウイ(マウイの魚)」こそ、ニュージーランドの北島だと言われています。



△伝統の木彫り細工

マオリ族の伝統的な料理は**ハンギ料理**と言います。それは地面に穴を掘り、その中に焼けて熱くなった石と食材の入ったかごを入れ、蒸し焼きにする料理です。料理に使う食材は鶏、豚肉、羊、ジャガイモ、カボチャ、クマラ(サツマイモ)、ヤムなどです。約3時間蒸し焼きにして完成します。たいていは50人以上のファナウ(拡大家族)と友達が集まって、準備から食事までの間、笑いとお話を楽しみながら自由な時間を過ごします。



最後にマオリ語の便利な言葉の一つを教えると思います。「こんにちは、ありがとう、さようなら」が「KIA ORA (キアオラ)」という一つの言葉で表現されます。あいさつのときに「キアオラ」と言いながら、自分の鼻と相手の鼻を合わせる「**ホンギ**」という習慣があります。



「キアオラ。」

## ニュージーランドの基本情報

人口：約400万人  
気 温：真夏の1月の気温は19℃～26℃、真冬の7月の気温は10℃～15℃です。  
首 都：ウェリントン  
最高峰：マウント・クック (標高3,735メートル)  
言 語：英語、マオリ語  
主な輸出品：酪農製品、食肉、木材

